



No. /

Date

九州熊本方面行政視察

星谷和馬

10月10日(火) 伊豆箱根鉄道 箱崎駅 6:01 発 大場駅迄 32分

ヒジメス スーツのツリマン多数、東京圏の通勤と思われ。

新幹線で品川着、通路が狭く、人の多さにビックリ、リニアモーター開通
したらムリなげに必要あり。

京急で羽田着、ANA 最新型 787. LA 笑顔、よくばり 下腹良い。

熊本産米着、山鹿市祖家 人口 52,000人 農業と観光の町

かつて相川の 54万石の米倉地帯。その内 20万石を大坂に出荷し
幕府を潤した。又輸出米の多から、米相場を左右したとの事。
今も昔も同じであり。

「さくら湯」 270年前に 相川藩主の御茶屋 今も運営 又 明治42年に
建てた「江戸代座」和と洋を取り入れ 650名収容の軒下であり。

国の重要文化財、今も運営してあり。

約 700m 循環を地中に、文化財も残す、景観点もよい観光地を
学ぶべき。

11日(水) 朝6:00 ~ 7:30 タクシーで 熊本城 1周 (自費)

西郷軍の功業を共に 7ヶ月も耐えた 難攻不落の 巨大な城も
地震にはいかず 勝てずが 胸がいたむ。

後旧工事は進んでいず、城が元の姿に戻れば、観光客が、景観にも大きく
影響するだろう。

そして阿蘇 巨大なカルデラ地方。2014年 9月1日 = 世界ジオパークに認定
人口約 5万 観光と農業の地域

地震に至る所に 山崩れ、地割れ、多岐あり。長さ数+メートル、深さ
1+メートルあり。道路、鉄道は通行不可の所もあり。

東海文学界学部 被害で 休校、熊本の本校に初年までの事
いまだに 村の復興は すすかしい。

阿蘇神社も 社殿が 崩壊あり、後旧工事中、大規模被害

15:30 熊本市役所訪問 人口 24万の大都市、市役所の1部 後旧工事中
地震の状況 説明あり。前震、本震により 29人の被害発生
市の対応 うち 機能せず 及び

人的被害 死者 75人 重傷者 753人 全壊 5752件

大規模半壊 8942件、半壊 38631件、1部損壊 80,762件

29年 8月31日現在 仮設仮居戸数 10,696戸に および、まだ 後旧せず

熊本城 復旧には 20年の歳月, 工事費約は 山からす"と
途中で 見ると(被) 被害は 感じられない, 夜 散策 すると 歩きは 至る所
1/2 土地割の 多数あり, まだまだと 実感する

12月(下) 蒼城町行政規模 人口 34,000人 農業と工業, 熊本産電の1部を含む
財政が豊か 熊本市との合併を住民投票で 否決した町です。

職員数 250人... (伊豆市は 倉川にも 多すぎ 擁護人員を削減すべし
熊本地震 最大の被害 前走 マグニチュード 6.5 規模 7.0
死者 40人, 重傷者 122人

全壊 3026棟, 大規模半壊 3293棟, 一部損壊 4925棟,
無被害は 158棟 その後の 地震回数 4,309回と

道路断絶, 土砂崩れ, 橋崩落, 落石と その為 役場集会所まで
役場の被害で 使用不可 機能せず

別館で 本部を立ち上げ! 1日 24時間 2交代制で 約2ヶ月 不眠不休
で対応 自衛隊, 警察, 消防 に 救助 要請

避難場所は 当所 倉庫, 車庫, 公民館, 産院, 消防のビルの中など
合計 18ヶ所に 仮設住宅も 整備 対応を 防ぐ為 コミュニティ
づくり 「みんなの家」も 併せて プラント等 借り上げ

1) 災証明書で 判定された 家屋の 解体 撤去を開始
2) 9年10月までに 完全撤去も 目指している。

- 防災倉庫は 叩かなくて カギ 使用不可の所も あり 使用に 時間がかかると
伊豆市でも 各地区に 及びが カギは 市が 管理, 設置場所の 区長さんと 共有すべき
- ボランティアも 多数受け入れも 10:00 ~ 15:00 まで 大変ありがたかった
所として 運営, 対応が できた。
- 職員は 各地区の 避難 場所へ 集合し 対応が 多い。
(本部に 集まり 職員と 各地区に 対応と 割り振り)
- 地震 消防団に 大変感謝と 夜警も 兼ね 昼夜に 連続して 対応して,

復旧から 復興へ (生活の声, 思いを 幅広く 汲み取り 身体的な 活力あり
発展に向けて 実行に 取り組むべきと,

もし伊豆地方に巨大地震が発生したら、ゾウとすま
月1回から全員参加の訓練 早い行動が命を守る
そして市役所の体制を再度見直す必要を感じた

2月3日の行政視察は大変有意義で参考になった。
伊豆市の発展の為に頑張ります。

星谷和子